

# 大学院ニュース

Graduate School News



## 商学研究科における 新プログラム開設などの取り組み

商学部副学部長（大学院担当） 教授 石田 和之

商学研究科では、2つのコースを設けて、研究者と高度専門的な職業人の育成に取り組んでいます。この度、高度専門的な職業人を育成するためのコースで、入試制度や教育プログラムの改革を行いましたので、ここで紹介させていただきます。

### 1. 入試制度の改革

商学研究科前期課程（修士課程）の入試には、学内進学試験、一般入試、外国人留学生入試、社会人入試、5年一貫教育プログラム（早期卒業）があります。このうち、学内進学試験と社会人入試で、より多くの皆さんが受験しやすくなるよう、出願資格などを緩和しました。

学内進学試験では、商学部を卒業見込みで、一定の基準を上回る成績の学生に出願資格を認めています。これまで、高度専門職養成コースへの出願では、成績基準としてGPA2.7以上の者としていましたが、ここに税理士試験一部科目合格者、公認会計士試験短答式試験合格者、日商簿記検定試験1級合格者を追加しました。税理士などの高度専門職を目指している商学部生のみなさんにとって、より商学研究科に進学しやすくなりました。

社会人入試では、専門科目試験の免除の要件を緩和しました。これまで、公認会計士、税理士の資格を有する場合に専門科目試験を免除していたところを、公認会計士試験短答式試験合格者、税理士試験一部科目合格者、日商簿記検定試験1級合格者を追加しました。これによって、たとえば、税理士事務所などで働きながら税理士試験の5科目合格を目指している一部科目合格の方には、より商学研究科を受験していただきやすくなりました。

### 2. タックス&アカウンティング・ストラテジー・プログラム (TASプログラム) の開設

商学研究科では、データサイエンティスト育成プログラム (DSプログラム) やグローバル・リテイリング・プログラム (GRプログラム) を設けて、実践的な知識をもつ高度専門的な職業人の育成に取り組んできました。この度、ここに新たなプログラムとして、タックス&アカウンティング・ストラテジー・プログラム (TASプログラム) を開設しました。

TASプログラムは、主には税理士試験の科目免除の申請を希望する方を対象にしたプログラムです (科目免除の申請を希望しない場合でも参加可能です)。このプログラムでは、科目免除の申請に備えて、税法や会計学に関する科目を専門とした課題研究論文の作成指導を行います。さらに、将来、税務や会計に関する高度専門的な職業人として活躍することを想定して、税理士事務所でのインターンシップやワークショップなどの機会を設けています。これまでも商学研究科では税理士試験の科目免除の申請を希望する学生を受け入れてきましたが、このプログラムによって税務と会計の両方を学ぶ機会を設け、より一層、実践的で高度な知識を体系的に学ぶことができるように配慮しています。

以上、商学研究科の取り組みをご紹介させていただきました。商学研究科では、今後も社会の期待に応えることができるよう取り組みを進めていく所存でございます。博修士会の先生方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。